

合格体験記

氏名：S.I.

[合格した自治体(校種・教科)]

神奈川県 (高校・地歴 (地理))

Q 採用試験に向けて...

①いつから勉強しましたか

1年目 12月～7月

2年目 4月～7月

2年目は1年目の貯蓄があったので、一般教養、教職教養だけでなく、専門にも力を入れて勉強していました。

②どのような教材を使っていましたか

東京アカデミーの参考書を使って勉強していました。特に教職教養の勉強は東京アカデミーのセサミノートを使っていました。要点がまとめられているのでおすすめです。

③勉強方法

図書館の6階で耳栓をして、集中して勉強するようにしていました。一般教養や教職教養は過去問や問題集をとき、新たに得た知識についてはすべてセサミノートの空いている部分に書き込んでいました。一冊の本に全て書き込み。それさえみれば全てわかるというようにしていました。

また苦手で自分一人では理解できない教科は教職ナビの友人に教えてもらっていました。専門については問題集をといたり、寝る前にインターネットでNHKの高校講座を見ていました。ほぼ毎日途中で寝てしまっていました。

④一日何時間勉強しましたか

1年目→毎日5～10時間くらい

遊びにいったりして全く勉強しない日もありましたが、基本的には勉強していました。勉強する習慣が身につけば1日遊ぶだけで不安な気持ちになるのでまた集中して勉強できるようになります。適度の遊びは大事だと思います。

2年目→(平日) 3～5時間 (休日) 5～10時間

仕事が終わってから図書館の6階に行って勉強していました。体力的にきつい日もありましたが、同じような状況で頑張っている同期を見て励まされていました。

⑤どこの自治体を受けてどのような対策をしましたか

神奈川→一次は筆記のみなので、とにかく一次試験に通る様に意識して勉強していました。

大阪→筆記のほかに集団面接があるので面接練習には絶対参加する様にしていました。

⑥二次対策はどうしていましたか(実技・専門・模擬授業)

模擬授業→一次試験の合格が決まってから対策をしました。指導案を先生に添削してもらい模造紙に書き、みんなの前で練習していました。

個人面接→集団面接と同じように面接ノートを見て話すべき事を頭にいれて臨みました。特別な対策はしていません。その自治体の施策は調べておくと良いと思います。

⑦あなたにとって教職ナビとはどのようなものですか

最初はあまり馴染めなく、避けていた様に思います。しかし一人一人と仲良くなるにつれて徐々に心を開ける事ができました。同じ志を持った仲間が周りにはとても心強かったです。今では「感謝」の一言です。

⑧ゼミ(授業)と教員採用試験との兼ね合いはどうしていましたか
ゼミの先生が理解のある方だったので、採用試験：ゼミ＝10：0です。

⑨バイトやボランティアはどうしていましたか
卒業するまで、もつ鍋屋でバイトしていました。理解のあるバイト先だったので、採用試験の前には長期の休みを頂けました。ボランティアは母校の貝塚三中で月1回の放課後学習支援。東大阪の金岡中学校でも週1回行っていました。

⑩挫けそうになったときどうしていましたか
気分転換にみんなでお酒を飲んだり、遊びにいったりしていました。

⑪大学生活中にやっておいたらいいこと
良い経験も悪い経験も含めて色々な経験をしてほしいと思います。
大学時代にしかできない事も多くあるので是非失敗を恐れず、色々な事にチャレンジすべきだと思います。エンジョイして下さい！！

Q これからどのような先生になりたいですか

「生徒にとって何が一番大事か」と常に考えて行動ができる教師になりたいです。

生徒から信頼される人間味のある教師になりたいです。

Q これから教員採用試験を受ける方へのメッセージ

「信念を曲げない」と言えば聞こえは良いですが、言い換えると「頑固」という事です。

「浮気性」といえばだらしない人の様に感じますが、「プレイボーイ」というと少しカッコ良いです。

同じような事でも捉え方一つで大きく変わるものだと思います。

採用試験を受ける上で辛い事が多々あると思います。しかし辛い事を辛い事と受けとめず、ポジティブな考えを常に持ち、前へ前へと進んで行ってほしいと思います。